

# 第40回 自然史標本データ整備事業による標本 情報の発信に関する研究会 「標本データ準備と公開のためのノウハウ集」

2023年 2月 18日(土) 13時30分～16時30分

主催：国立科学博物館

協力：NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク

## 注意事項

- ・可能であれば、ご自身の名前を正しくご表示ください。
- ・発言時以外はマイクとビデオをオフにしてください。

# お願い

- 可能であれば、ご自身の名前を正しくご表示ください。  
下部のタスクバーで[参加者]をクリックして[参加者]ペインを開き、参加者名の右側をクリックし、[名前の変更]を選択して名前を変更します。
- 発言時以外はマイクとビデオをオフにしてください。  
画面の下にマウスを動かすと、下のタスクバーが表示されます。タスクバーの[ミュート]および[ビデオの停止]をクリックし、マイクをミュートに、カメラをオフにすることができます。
- 質問は挙手もしくは[チャット]でお知らせください。  
「送信先」から「全員」を選び、「ここにメッセージを入力します・・・」に入力して送信してください。
- 参加者側での録音・録画はご遠慮ください。



# 注意事項

- 質疑応答は、個別講演の後、およびすべての講演が終わった後に行います。
- 本会合では事務局側で一部講演等を録画しますので、予めご了承ください。録画された動画は対象者・期間限定で公開される予定です。公開の方法等については後日決定し、公開をする場合は改めてご連絡いたします。
- 休憩の際には、一旦退室せず、マイクとビデオをオフにしたまままでお待ちください。
- 画像や音声途切れるなど、インターネット接続が最適でない場合は、カメラの電源を切る、Zoomの再起動、PCの再起動等を試みてください。
- 講演・実習後に、いくつかのグループに分かれての自由討論・情報交換の時間を予定しております。

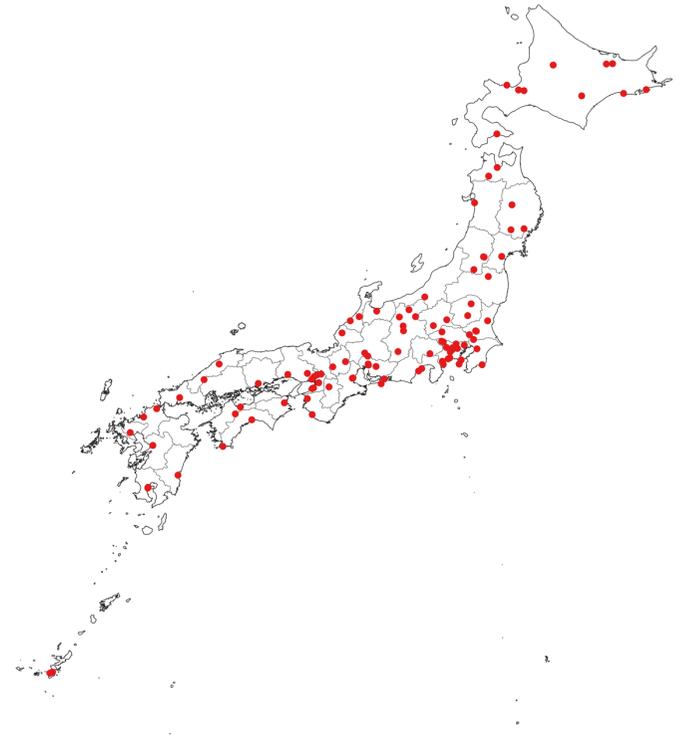
# 生物多様性情報とは？

おもに「種の多様性」に関するデータ  
分類学的な情報が中心

- 分類群に関する情報（種名、上位分類群...）
- 分布に関する情報（標本、観察データ...）
- 種に関する情報（特徴、分布...）
- マルチメディア（画像、動画、音声...）
- 塩基配列（DNAバーコード...）

# サイエンスミュージアムネット (S-Net)

- 国立科学博物館が運営する  
自然史標本データ共有ネット  
ワーク
- 博物館・研究所など115機関
- 機関・標本・学芸員等のデー  
タを収集・公開
- 国内の生物多様性情報を  
収集するプロジェクトの一部



参加館の所在地

サイエンスミュージアム ネット  
Science Museum Net S-Net

English

## 全国の自然史系博物館の標本情報がここにあります

What's New

2023/1/20 2月18日(土)に第40回自然史標本情報発信に関する研究会が開催されます。詳細は別添案内をご覧ください。[案内](#)

「サイエンスミュージアムネット (S-Net)」では、全国の自然史系博物館等が所蔵する「自然史標本」の情報、各機関の標本が種類ごとにとまめられている「コレクション (データセット)」の情報、そして、自然史系の博物館・研究機関の「研究員・学芸員」の情報が検索できます。「機関・データセット一覧」にはご協力いただいている機関と提供されたデータセットがリストされています。

[機関・データセット一覧](#)

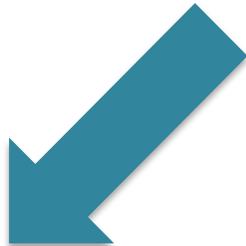
自然史標本情報  データセット  研究員・学芸員

全ての機関 ▼

キーワードを入れて検索

キーワードが含まれている自然史標本情報を検索します。

博物館



## サイエンスミュージアムネット

国内

国際

JBIF 日本生物多様性情報 イニシアチブ  
Japan Initiative for Biodiversity Information

ホーム > よくあるご質問 > お問い合わせ

サイト内検索

Japanese | English

概要 ▾ GBIFデータ利用 ▾ GBIFへのデータ登録 ▾ サービス ▾ 活動 ▾ ライブラリー

ホーム

### このWebサイトについて

GBIF (Global Biodiversity Information Facility) は、いつでも、どこでも、誰でもが、世界中の生物多様性に関する情報を利用できる情報環境を実現するために発足しました。2001年以來、各国からの拠出金と、各国や生物多様性分野の国際機関・プロジェクトの自助努力によって運営されています。現在、日本からは日本生物多様性情報イニシアチブ (旧GBIF日本ノード) が窓口となってデータ提供されています。

- GBIFについて
- JBIFについて

## フリーでオープンな生物多様性データ

オカレンス 種情報 データセット 出版者 資料

検索

GBIFとは GBIF 日本について

*Orthorhynchus encaetis* (Linnaeus, 1758) observed in Dominica by Court Harding (CC-BY 4.0)

2,273,840,166	81,057	1,957	8,302
オカレンスレコード	データセット	提供機関	データを利用した査読付き論文

日本生物多様性情報イニシアチブ (JBIF)

地球規模生物多様性情報機構 (GBIF)

# S-Net研究会

- 夏(6月頃)と冬(2月頃)に開催
  - 夏=座学中心 冬=実習中心
- 最近の冬のS-Net研究会：
  - 第32回 (2019) エクセルによる標本データの整形と変換入門(兵庫ひとはく)
  - 第34回 (2020) データ品質向上に向けてのテクニック(JT生命誌研究館)
  - 第36回 (2021) 標本データのチェックとクリーニングの技法(オンライン)
  - 第38回 (2022) 分類群同定の基礎と専門家・分類学者との連携(オンライン)

# プログラム

## 「標本データ準備と公開のためのノウハウ集」

1. 諸注意・趣旨説明【神保】
2. Zooniverse を用いたクラウドソーシングによる標本データ入力の紹介とデモ【海老原】
3. データ準備・発信における S-Net や GBIF のシステムの活用【神保】
4. 討論・意見交換

標本整理

38回(同定)

データ入力

40回(クラウド  
ソーシング)

データチェック

32回  
34回  
36回

データ公開

40回(準備)

40回(発信)